

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	29-001		
PDCA	事務事業名	図書館一般事務	部課等名	教育部 図書館	担当 内線等	野不雄 23-7171	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (4) 図書館の利用促進 個別施策： ①子どもの読書活動推進					
	根拠法令等	図書館法、半田市立図書館条例					
	対象・目的	誰もが快適に利用できる図書館をめざす。子どもたちの読書活動を推進するとともに、ボランティアとの協働により、障がい者や高齢者を始めとする市民の図書館利用促進を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	読み聞かせ会を始め、ボランティア団体と協働で行う「としょかんまつり」など、図書館に親しみを持ってもらえる多彩な事業を実施する。巡回文庫や小中学校等に司書を派遣し、子どもたちへの読み聞かせやブックトーク（テーマに沿って、本を司書が選び、紹介すること）を通じて図書館に親しみを持ってもらい、ボランティア養成講座の実施により、読書推進の担い手となる新たな人材確保を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①としょかんまつり参加者数	2,730	2,658	2,058	人	
		②ちいさいちいさい読み聞かせ会参加者数	1,454	1,796	1,638	人	
		③あかちゃんとしょかん参加者数	332	493	511	組	
		事業費	5,985	5,675	7,293	千円	
		人件費	14,964	14,765	15,683	千円	
		総事業費	20,949	20,440	22,976	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①市民一人当たりの図書館一般事務費	175	170	191	円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①年間入館者数	実績値	363,882	358,758	330,013	
			目標値	391,000	391,000	388,000	
②図書館事業参加者数		実績値	11,102	11,938	11,968		
		目標値	11,500	11,500	11,500		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C 亀崎図書館における地域と学生との3者共催イベントなど、多くの事業にボランティアと協働で取り組んだことや、乳幼児期から本に親しんでもらう「あかちゃんとしょかん」、「ちいさいちいさい読み聞かせ会」等に力を入れたことなどにより、事業参加者数が目標値を超えた。また、障がい者向けサービスの充実も図っており、当館ボランティアが録音した視覚障がい者用音声CD-ROM「デージー」について、他施設からの依頼により291件の貸出しを行った。活字離れが進む中、今後子どもたちに本の良さ、読書の楽しさを伝えていくため、小中学校や児童施設等へ出向いて行う事業や館内行事を充実させていく。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館により、年間入館者数が大幅減となってしまったが、予約資料の貸出等を行う臨時窓口の設置、図書館へ来館出来ない子どもたちへの対策として学童保育施設へ図書貸出（5施設、約350冊）を実施するなど、臨機応変に対応した。※D活動結果の活動実績②③について変更した。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 第2次半田市子ども読書活動推進計画（R3年度～）を策定し、家庭・地域、保育・教育機関、図書館が連携して子どもたちの読書活動推進に向けた活動を進める。引き続きボランティア団体と協働で様々な行事を開催するとともに、読み聞かせやブックトークについては、新たに学童保育施設などへ訪問することを積極的に検討していく。また、ボランティア養成講座を実施し、新たな読書推進の担い手の育成に努める。高齢者、障がい者に向けたサービスのPRにも努め、図書館資料の利用を促進する。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①年間入館者数		目標値	360,000	人	
		②図書館事業参加者数		目標値	11,500	人	
		③		目標値			